



兵庫県立
人と自然の博物館の
先生によるコラムだよ!

日本一大きいクモ

日本一高い山は?と聞かれて、答えが思い浮かぶ人は多いと思います。では、日本一大きいクモは?という質問はどうでしょうか?生き物好きなら、もしかしたら、「アシダカグモ」という惜しい回答が出るかもしれません。アシダカグモは、屋内や人工物で見かける比較的大きな徘徊性のクモです。しかし、最大ではありません。正解は、「オオジョロウグモ」です。南西諸島から鹿児島県南部にかけて分布している造網性のクモです。クモの体長は

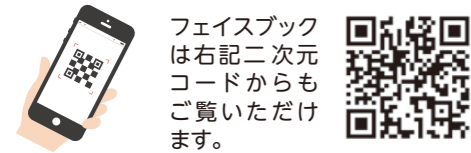
脚の長さを含めません。オオジョロウグモは、体だけで35mmから50mmほどあります。脚を含めた見目でいえば、その3倍くらいのインパクトがあります。網も巨大で、場所によっては直径1mに達する巨大な網を張ります。糸の粘着力も強く、まれに鳥やコウモリが掛かってしまい、捕食されることもあるようです。兵庫県立人と自然の博物館では、2024年7月2日から2025年1月13日までクモの企画展を行います。オオジョロウグモも展示しますので、ぜひ、実物をご覧になっていただけたらと思います。



兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授
兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員(併任) 山崎健史

市議会 Facebookを チェック!

本会議、委員会の日程や市議会からのお知らせなどを掲載しています。ぜひご覧ください。



フェイスブックは右記二次元コードからもご覧いただけます。

9月定例会は8月20日に開会予定です

8/20(火)	10:00~	本会議
8/21(水)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会 (令和6年度補正予算、令和5年度決算認定) ※決算認定は病院事業会計・水道事業会計・下水道事業会計
	終了後	経営政策常任委員会
8/22(木)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
8/23(金)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
8/26(月)	13:00~	予算決算常任委員会 総括質疑(令和5年度決算認定) ※病院事業会計・水道事業会計・下水道事業会計
8/27(火)	13:30~	予算決算常任委員会 討論・表決 (令和6年度補正予算、令和5年度決算認定) ※決算認定は病院事業会計・水道事業会計・下水道事業会計
9/ 4(水)	10:00~	本会議 一般質問
9/ 5(木)	10:00~	本会議 一般質問
9/ 6(金)	10:00~	本会議 一般質問(予備日)
9/13(金)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決

*上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、常任委員会は6階委員会室で開催予定です。

表紙紹介

夏休み

三田には、野外活動センターをはじめ、夏を満喫できるアウトドアスポットがたくさんあります。豊かな自然の中で家族や仲間と過ごす時間は、最高の夏の思い出になるはずです。ぜひ遊びに出かけてみてくださいね。

三田市在住のイラストレーター、
宮館みえりさんに描いていただきました。



あらゆる人と共に...



8月号
2024
vol.180

三田市議会だより



一般質問\6月定例会の結果\議会報告会その後\議会ハラスメント根絶検討委員会\政務活動費



三田市議会だより **こなぐ** 2024.8 vol.180

〒669-1595 三田市三輪2-1-1
TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992
✉ gikai_u@city.sanda.lg.jp

市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gikai/index.html

三田市
議会HP



広報委員会
[委員長] 中田哲 [副委員長] 福田佳則
[委員] 福本愛 木村雅人 幸田安司 美藤和広
[議会事務局] 波田笙子 見田明彦

編集 後記

市議会だよりは、2011年4月より、A4サイズの冊子で愛称を「つなぐ」とし、本議会、委員会、議会活動などのわかりやすい情報発信を目指しています。議会のあり方が問われる時代、市民の皆様の声を取り入れながら、常に進化する議会報へと精進します。(美藤)



この広報紙は環境保護のため、
植物油インキを使用しています。

24議8-026A4

☆☆ SNSで議会情報を発信中! ☆☆

You Tube
本会議の録画映像を公開しています。

Facebook
市議会の日程やお知らせなどを投稿しています。



SANDA CITY COUNCIL

質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

6月定例会では、18人の議員が一般質問（個人質問）をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。



三田市議会会議録

検索



三田市議会ユーチューブチャンネル

検索



※本会議の録画映像を公開しています。

関口 正人 議員

無会派



市政

子どもを核としたまちづくりの実現を

議員 こども医療費18歳以下の完全無償化と中学校給食費の無償化は、市長の公約の1丁目1番地であり、遅くとも令和7年度予算から実施すると認識しているが、財源確保のためにどのような取組を進め、実施するのか。

財源確保の取組を進め、実施したい

市 公約の「2つの無料化」は、令和6年夏には、潜在的な財政課題に対応し、今後に必要な財源を確保するための財政構造改善の骨子を示し、その後、骨子を具体化するプログラムをとりまとめながら予算編成を行い、令和7年度から実施したい。(田村市長)

他の質問 ●三田市地域公共交通計画と新統合病院への交通アクセスについて 他3件

佐貫 尚子 議員

新政みらい



高齢者支援

一人暮らしや身寄りのない高齢者の支援を

議員 一人暮らしや身寄りのない高齢者の介護、延命措置、葬儀、お墓等の課題について、高齢者自身が自分の意思で決めることができるよう、意識調査の実施など、市として働きかけては。

もしもの時に備えた支援体制づくりを検討

市 要援護高齢者調査で把握した高齢者への訪問等を実施し、声や思いを聞き取る。また、もしもの時に備えた相談支援等の体制づくりの検討とともに、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合い共有する人生会議の普及・啓発に取り組む。さらに、終活セミナーの実施やエンディングノートの活用など周知啓発に努める。(入江健康福祉部長)

他の質問 ●三田まつり花火の見送りについて 他1件

井上 昭吾 議員

無会派



シティセールス

首都圏へ向けた三田市の魅力発信の進捗は

議員 市の認知度向上や産業振興のため、福沢諭吉とのつながりをきっかけに連携自治体となった東京都港区のイベントコーナーを活用した、首都圏へ向けての市の魅力発信について、進捗状況を伺う。

関係団体と調整を図り、企画展示や物販を行う

市 令和6年度中に三田市観光協会と共同し、歴史に興味がある層をメインターゲットとして、三田と三田の興味深い歴史的なつながりや、さまざまな特産品をテーマにした企画展示、物販等を行い、市の魅力を首都圏へ効果的に発信できるように取り組む。(青野産業振興部長)

他の質問 ●中学・高校生の力を生かした施策について 他2件

美藤 和広 議員

市民の会



公共施設

野外活動センター開発計画、白紙の理由は

議員 老朽化した野外活動センターの運営の公募型プロポーザルで、アウトドア交流都市さんだの一翼を担う、魅力ある豊かな自然が体感できる施設を提案した、夢ある企業との契約を白紙とした理由は。

市民意見の未反映、情報伝達不足のため

市 民間事業者の公募の際に、市民意見が反映できていない可能性や、市民に情報が伝わっていない状況であると判断し、中止した。民間事業者との連携による活性化の考え方は継続する。今後、市民意見を反映させた公募要件を整理し、民間事業者の公募等を行い、令和9年4月開所を目指す。(田村市長)

他の質問 ●危機管理の強化について 他1件

中田 哲 議員

新政みらい



雇用・産業

若者にとって魅力的な雇用・産業の創出を

議員 人口減少の食い止めには、先端技術に関わるような魅力的な雇用・産業の創出が重要。円安を背景にした国内への研究施設・製造工場等の建設ニーズ増加の流れを生かし、企業誘致を促進すべきでは。

関係機関等と協力し、企業誘致を推進する

市 雇用・産業の創出は、人口減少対策に寄与するもので、優れた交通アクセスを生かしたインフラ整備や優遇措置の創設等により、積極的に企業誘致を進めてきた。製造業等の国内回帰の潮流を生かし、引き続き、関係機関等と協力した企業誘致と公民連携による産業創出に取り組む。(青野産業振興部長)

他の質問 ●増大する社会課題への対応策 他3件

木村 雅人 議員

日本共産党三田市議団



公共交通

高齢者運賃助成制度(案)のさらなる見直しを

議員 見直し素案では、タクシー利用は取得が任意であるマイナンバーカードに限定されており、未取得の市民は利用できない。また、対象エリアが交通不便地域に限定されており、市街地などの市民が利用できない点も問題ではないか。

持続性のある外出促進となるよう検討する

市 制度の見直しにあたっては、柔軟な対応も視野に入れ検討する。現行の割引証を併用するなど、次の制度でも使えるよう対応していきたい。対象エリアは、必要とされている方にとって利用しやすい持続性のある外出促進となるよう検討する。(田村市長、山添都市整備部長)

他の質問 ●持続可能な農業政策について 他1件



今北 義明 議員
盟政会



地域活性

「地域おこし協力隊」事業再開の可能性は

議員 高齢化や人口減少が進み、農村地域力の低下が懸念され、課題となっている。農村部の起爆剤としての「地域おこし協力隊」事業再開の可能性について、市の見解を伺う。

農村地域活性化のための課題解決に取り組む

市 農村地域では、基幹産業である農業や伝統文化等の継承が困難になりつつあると認識している。「地域おこし協力隊」事業は、農村地域活性化の有力な手段となり得る。地域特性に応じた取組により、地域の活性化を図る。

(西田副市長)

他の質問 ●三田市民病院の経営について 他1件

檜田 充 議員
市民の会



教育支援

不登校児童生徒への対応は

議員 埼玉県戸田市への会派行政視察で、校内サポートルームの有効性を確認した。本市における校内サポートルームの設置と子どものサポーターの配置の進捗状況と効果は。

すべての学校にサポートルームを設置する

市 令和5年度の不登校児童生徒数は、小学校120名、中学校195名で年々増加している。校内サポートルームは15校で設置環境が整っており、今後すべての学校に設置する。校内サポートルームや子どものサポーターによる一人ひとりに合ったきめ細やかな支援により、子どもたちの安心感、不登校の未然防止や不登校傾向の改善につなげる。(浅野学校教育部長)

他の質問 ●学校の働き方改革について 他1件

水元 サユミ 議員
日本共産党三田市議団



介護

介護人材確保に向け、さらなる独自支援を

議員 以前から介護人材が不足している中、令和6年度の国の介護報酬改定によって小規模事業者が影響を受け、閉鎖する事業所が増える可能性がある。介護人材の確保に向け、小規模事業者に対し、さらなる市の独自支援が必要ではないか。

今後も事業所の状況把握に努め、対応していく

市 介護報酬改定による影響は、事業所に問い合わせ、状況を把握していく。介護人材の確保は喫緊の課題と認識しており、介護職員の研修費用の一部補助なども継続しながら、今後も事業所の状況把握に努め、対応していく。

(入江健康福祉部長)

他の質問 ●三田市における医療の充実について 他1件

松岡 信生 議員
公明党



まちづくり

持続可能性社会に向け、若者雇用の場の創出を

議員 民間有識者でつくる人口戦略会議の分析で、本市は「消滅可能性自治体」の一手手前であった。「自立持続可能性自治体」の共通傾向に、子育て支援はもとより、若者雇用の場の確保・充実が見られる。鋭意、第三テクノパークの開発を進めるべきでは。

若者の雇用促進、新たな産業拠点の創出に取り組む

市 危機感を強く持ち、子育て支援、若者の働く場の拡大や雇用創出に取り組む。第三テクノパークの重点候補地は、企業立地のニーズに適した用地を選定しており、現在、新たな産業拠点創出のため、諸課題を踏まえ、事業成立について再評価の取組を進めている。(田村市長)

他の質問 ●災害時の対応について 他2件

大西 雅子 議員
公明党



災害対策

避難所運営における課題への取組を

議員 避難所トイレは、速やかな整備、使用者の事情への配慮、持続して利用するための清掃・衛生環境維持等の課題があり、ガイドラインが必要では。また、避難所運営の場に女性参画が少ないことからジェンダーに関する問題が生じているが、市の見解を伺う。

適正な運営に向け、課題解決に取り組む

市 トイレの清掃や衛生面の課題は認識しており、適正な運営に向けガイドラインの必要性を検証する。また、女性参画の促進には、地域の理解と協力が不可欠であるため、地域防災訓練や出前講座で女性への配慮や女性参画の必要性を周知する。(中田危機管理部危機管理監)

他の質問 ●農福連携について 他1件

福田 秀章 議員
盟政会



農業

公約の農業の担い手不足対策への展望は

議員 現状の農業振興について、農業の担い手不足に対する取組が薄いと考えるが、今後の施策展開を伺う。

担い手確保のため、切れ目のない支援を行う

市 多様な農業の担い手の育成・確保等は喫緊の課題である。対策として、認定農業者・小規模農家へのスマート農業機械等の導入による経営継続の支援や、新規就農希望者への準備段階から営農開始後までのきめ細やかな支援を行っている。現在、地域と取り組んでいる地域計画の策定の推進など、引き続き、切れ目のない支援を行っていく。(田村市長)

他の質問 ●人口減少対策と税収・税外収入の確保等について 他1件

福本 愛 議員
日本維新の会 三田



子育て支援

産後ケア事業、利用しやすく改善を

議員 産後ケア事業の手続きの複雑さによって利用の断念につながるような改善が必要では。また、2人目以降の育児に対する産後ケアの必要性について、市の見解を伺う。

必要とする方が適切に利用できるよう改善を図る

市 必要とする方が適切にサービスを利用できるよう、市ホームページでの情報発信について改善し、利用促進に努める。また、2人目以降の出産は、産後負担が大きいことは認識している。産後ケア事業のきょうだい同伴利用について、まずは市窓口でご相談いただくよう周知し、より使いやすい事業となるよう努める。

(松本子ども・未来部長)

他の質問 ●三田市における放課後児童クラブについて 他2件

厚地 弘行 議員
新政みらい



まちの再生

つつじが丘の再生、まちの再生を

議員 つつじが丘の再生事業には何が必要であるか。また、人口減少や高齢化等は市全域の共通課題であり、全市に広げて行うべきでは。

地域の実情に応じた体制づくりと実践を行う

市 まちづくりの方向性等について、つつじが丘で11回の協議を重ねており、令和7年度より計画的に事業を実施する。内科医施設後については、過去の経過を踏まえ、医師会等の協力を得ながら、地域医療の充実に取り組む。再生事業は市内の共通課題であると認識しており、地域実情に応じた施策・事業が最適化できる体制づくりと実践を行う。(西田副市長)

他の質問 ●フラワータウン駅前倉庫跡の活用について 他2件

幸田 安司 議員
盟政会



小杉 崇浩 議員
盟政会



友好都市

北海道浦河町との
友好都市連携を

議員 明治時代、北海道開拓のため政府が本格的に開拓使を設置する中、浦河町の開拓には旧三田藩士の鈴木清と澤茂吉が深く関わったことから、赤心社記念館や銅像がある。民間交流や行政間の交流も行っており、深い関わりのある浦河町と友好都市連携を進めてはどうか。

市民・民間事業者間の交流等を支援していく

市 市民・民間事業者間の交流やイベント企画の継続支援とともに、浦河町との歴史的なつながりを周知することで市民の機運醸成を図り、見極めた上で、友好都市連携について判断したい。(西田副市長)

他の質問 ●三田のにぎわいの拠点や、市街地商店街の活性化について

肥後 淳三 議員
市民の会



長尾 明憲 議員
日本共産党三田市議団



就労支援

女性が活躍できる学び
直しの取組を

議員 女性のデジタルスキルアップは、働き方の可能性を広げることから、子育て中や子育てが終わった方から学び直したいとの声を聞く。リスキリング事業は、市への移住・定住を決める要素にもなると考えるが、今後の取組は。

公民連携等による取組を検討する

市 リスキリングは、キャリア形成等につながり、多様で柔軟な働き方の選択肢が広がることから、子育て中の方をはじめ、世代・性別を問わず職業満足度や収入の向上に寄与すると考える。今後は、公民連携による事業展開を含め、先進都市の事例等を踏まえ、できる取組を検討する。(入江健康福祉部長)

他の質問 ●農業政策について 他4件

説明

リスキリング：新しい職業に就くため、あるいは新たな業務に対応するために、必要な知識やスキルを学ぶこと

子どもの
権利

子ども・若者条例の
制定を

議員 子ども・若者が権利を主体的に行使でき、積極的に社会参加できる環境の実現に向け、子ども・若者条例を制定すべきでは。

国や県、近隣市等の動向に注視し、研究する

市 三田市人権共生条例に基づき、人権尊重のまちづくりの考え方を定めた人権施策基本方針の改定を予定しており、子どもの人権においても権利保障や社会参画等の重要性を踏まえ、理念を示していく。また、三田市子ども計画の策定も進めており、意見表明の機会の確保等についても計画に位置付ける。条例制定については、国や県、近隣市等の動向を注視しながら研究する。(田村市長)

他の質問 ●障害福祉施策について 他1件

市民病院

高騰する建設費、病院
統合を進めてよいのか

議員 昨今、建設コストが高騰しており、最低でも400億円、場合によっては500~600億円を超える工事になるのでは。伊丹市では、新病院の工事入札が2度にわたり不調、建設費が当初比の5割近く増になっている。いったん立ち止まり、情報精査した上で、市民に問う必要があるのでは。

概算事業費を試算して示したい

市 建設工事費が上昇している状況は把握しているが、現在、策定を進めている新統合病院基本計画において病床規模や医療機能などを取りまとめ、概算事業費を試算して市議会や市民に示したい。(喜多地域医療推進担当部長)

他の質問 ●フラワータウン再生の取り組みについて

令和
6年

6月定例会の結果

5月24日~6月24日 (会期:32日間)

市長提出議案 22件
議員提出議案 2件
請願 6件



全議員が賛成した議案・請願

- 予算 一般会計補正予算(第1号) など予算案件3件
- 条例 市税条例の一部改正 など条例案件5件(うち2件は専決報告)
- その他 損害賠償の額の決定 など事件決議5件
固定資産評価審査委員会委員の選任同意 など人事案件4件
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための、2025年度政府予算に係る意見書の提出 議員提出議案1件
- 請願 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願 請願1件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

賛否が分かれた議案・請願 (森本政直議員は、議長のため表決に加わりません) 賛成:○ 反対:× 欠席:欠

件名	議員名														結果							
	盟政会				新政みらい			公明党		日本共産党三田市議団		市民の会		日本維新の会三田		無党派						
	福田秀章	幸田安司	小杉崇浩	今北義明	厚地弘行	北本節代	佐貫尚子	中田哲	松岡信生	大西雅子	福田佳則	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	榎田充	美藤和広	肥後淳三	林政徳	福本愛	関口正人	井上昭吾	
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成17人 反対3人 欠席1人 可決
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成17人 反対3人 欠席1人 可決
地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成17人 反対3人 欠席1人 可決
市民病院の管理に係る指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成17人 反対3人 欠席1人 可決
兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成17人 反対3人 欠席1人 可決
意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	賛成12人 反対8人 欠席1人 可決
緊急事態に関する国会審議を求める意見書提出についての請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	賛成12人 反対8人 欠席1人 採択
済生会兵庫県病院の経営情報の公開を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対17人 欠席1人 不採択
市民病院の民営化についての市民意見交換会を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対17人 欠席1人 不採択
経営形態変更にとまなう病院職員分限免職(解雇)の根拠を示すこと併せ、病院職員の意見を受け止める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対17人 欠席1人 不採択
市民病院の民営化計画を中止し分娩機能喪失防止を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対17人 欠席1人 不採択

賛否が分かれた議案

議案第53号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第56号 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第57号 地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第59号 市民病院の管理に係る指定管理者の指定について

議案第63号 兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について



内容

第53号は法改正に伴い個人番号の利用に関する条例の一部改正するもの、第56号は法改正に伴い介護予防支援等に関する条例の一部改正するもの、第57号は国の職員配置基準の見直しにより職員配置を柔軟化するもの、第59号は市民病院の指定管理者を指定するもの、第63号は被保険者証発行終了に伴い規約を一部変更するもの

可決
賛成 17名
反対 3名
欠席 1名

不採択
賛成 3名
反対 17名
欠席 1名

反対討論

議案第53号について、法改正により、マイナンバーの情報連携できる範囲が特定個人番号利用事務として主務省令で規定された。法の範囲内とはいえ、これまでより情報連携が拡大されるため、反対。

議案第56号・議案第57号について、国が介護に携わる職員の処遇を改善すべきであり、場当たりの基準緩和では、職員の負担が増し人材確保の悪循環に陥るため、反対。

議案第59号について、再編統合そのものに反対であり、指定管理者制度導入も住民参加や議会のチェックが薄れ、採算性重視、解雇、ノウハウ喪失等の問題がある。また、委員会審議で、市として済生会兵庫県病院の経営状況を把握している旨の答弁があったが、令和2年の北神・三田急性期医療連携会議で報告のあった大幅な赤字の経営状況などの課題への抜本的な対策が行われたかは不明であり、反対。

議案第63号について、国はマイナンバーカード未取得者に資格確認書を発行するというが、現行の被保険者証で十分運営できるものを廃止し、新たな資格確認書にする必要がないため、反対。（日本共産党三田市議団 水元サユミ）

賛成討論

議案第53号について、マイナンバーの情報連携ができる主体、事務は法令で厳格に限定されており、いたずらに情報連携が拡大することはないため、賛成。

議案第56号について、介護保険法施行規則の「地域包括支援センター運営協議会」を定義する引用条文の変更にかかる改正であるため、賛成。

議案第57号について、職員配置の柔軟化により、市全体として包括的な支援が可能となるなど、介護人材などの専門職確保が難しくなる中、質の高い介護を効率的に提供するための基盤整備であり、賛成。

議案第59号について、市民の命を将来にわたって守り抜くため、急性期医療は何としても堅持し続け、充実させなければならず、指定管理者の指定は、新統合病院へのスムーズな移行に必要であるため、賛成。

議案第63号について、医療DXを構築し、誰もが安心して適切な医療を受けられる環境整備を進める上で必要不可欠であるため、賛成。（新政みらい 北本節代）

説明 医療DX：医療分野においてデジタル技術を活用することで効率や質を向上させること



内容

請願第14号 緊急事態に関する国会審議を求める意見書提出についての請願書

（請願者）ニューレジリエンスさんだ 見野 裕重氏
（請願の趣旨）パンデミックや大規模自然災害に強い社会の実現に向け、国会において建設的かつ広範な論議を促進するよう意見書の提出を要望するもの

採択
賛成 12名
反対 8名
欠席 1名

反対討論

自然災害や感染症などは、従来の法体系で対処・対応してきたもので、緊急事態という概念を持ち出し、憲法論議を行う必要はない。災害対応の中心は自治体で、日頃からの備えが重要。また、憲法における緊急事態の対応は、私権制限や、権限集中による独裁化・人権侵害を引き起こすリスクもある。憲法に緊急事態条項、すなわち国家緊急権がないのは、民主主義国家として「国民の同意が必要」という原則を前提にしており、憲法を変えるべきではないため、反対。（日本共産党三田市議団 長尾明憲）

賛成討論

近年、自然災害や感染症など、日本を取り巻く環境は想像を絶する域に達している。能登半島地震は、災害廃棄物撤去や支援物資輸送の遅れの発生、被災した地方自治体の行政機能停止など甚大な被害をもたらし、新型コロナウイルス感染症は、日本経済に大きな打撃を与え、医療崩壊の危機に直面した。パンデミックや大規模自然災害に強い社会の実現に向け、国会において建設的かつ広範な論議を促進するよう意見書の提出を要望するものであるため、賛成。（盟政会 福田秀章）



請願第16号 市民病院の民営化についての市民意見交換会を求める請願

内容 （請願者）三田市民病院をまもる会 東浦 徳次氏
（請願の趣旨）指定管理方式による市民病院の民営化についての市民意見交換会の実施を求めるもの

賛成討論

再編統合ありきの議論の中で、指定管理者制度の導入が進められている。市民の財産である市民病院の経営形態変更は、将来にわたり市民と職員に影響を与える問題で、市政運営の大きな転換であるが、市民が意見表明する場がほとんどなく、市民意見交換会をすべきであると考えるため、賛成。（日本共産党三田市議団 長尾明憲）

反対討論

指定管理者制度は、本来の設置目的達成のため導入するもので、市政への市民参加条例において、市民意見を聴く手続の対象となる「市民生活に重大な影響を及ぼすおそれがあると市長等が認める制度、事業等の策定、変更」に該当しない。また、議決後に広報誌やホームページ等で広報されるため、反対。（盟政会 福田秀章）

その他、以下の請願、意見書案も賛否が分かれ、請願3件については討論を行いました。

請願第15号 済生会兵庫県病院の経営情報の公開を求める請願

請願第17号 経営形態変更にとまなう病院職員分限免職（解雇）の根拠を示すことと併せ、病院職員の意見を受け止める請願

請願第18号 市民病院の民営化計画を中止し分娩機能喪失防止を求める請願

意見書案第8号 緊急事態に関する国会審議を求める意見書提出について

報告します！

議会報告会 その後

4月に開催しました議会報告会では、参加していただいた皆さまからさまざまなご意見をいただきました。その意見を議会で検討し、市の現状などを調査したものについてご報告します。その他のご意見は常任委員会で検討するなど参考意見として活用させていただきます。

参加者1

教育委員会の「あすなろe-school」のような不登校支援の取組が保護者に浸透していないと思うが、周知できないか。



議会から市へ現状を聞きました！

不登校の中学生が「三田市あすなろ教室」の指導員とオンラインでつながり、メタバース空間内で相談や支援を受けることを目的に、令和5年度2学期から研究を行っている。令和5年度は、あすなろ教室に通う中学生を対象とし、学校を通じて説明を行った。現在は対象となる生徒に個別に声かけをしているが、「あすなろe-school」の機能をさらに充実させた上で、市の広報誌や公式ホームページ等で幅広く周知をしていきたい。

説明 三田市あすなろ教室：社会的自立や学校復帰を目的に登校しにくい状況にある子どもが安心して通える教室。

議会報告会でいただいた意見と検討結果については、ホームページで公開しています。



議会ハラスメント根絶検討委員会を設置

令和6年3月に、市議会議員のパワーハラスメントについて、行政監察員に対し匿名での公益目的通報がありました。議会や議員活動は当該通報の対象ではないとして不受理となりました。

しかし、当該通報があった事実をもって、令和6年5月に市長から議長に対し、市議会議員の市職員に対する言動の改善について申し入れがありました。

これを受け、会派代表者会で協議の上、議会運営委員会において条例などの制定や議員の行動指針策定のため、「議会ハラスメント根絶検討委員会」を設置することが決まりました。検討委員会では、令和6年9月定例会の条例案の上程および行動指針案の策定を目指しハラスメントの根絶に向け、協議を重ねています。

また、議員に関するハラスメントの実態把握のため、市は管理職対象に、また、議会は議員対象にそれぞれ実施したアンケート結果の一部を報告します。

市議会議員の市職員に対する言動の改善について(申し入れ)

特定の市議会議員から市職員に対し、パワーハラスメントに該当する可能性のある言動が報告されており、再三の申し入れにもかかわらず改善がみられないため、次の4点の改善と即時実行を求めます。

- (1) 第三者委員会の設置
- (2) 問題行動の監視と報告体制の強化
- (3) ハラスメント根絶に向けた風土づくり
- (4) ハラスメント根絶に向けた倫理規定の例規整備の検証

議会ハラスメント根絶検討委員会

市議会としてハラスメント等を防止し、対応策を検討するための委員会。

所掌事項

- (1) ハラスメント根絶に関する条例案及び関連する例規案等の策定に関すること
- (2) 市議会におけるハラスメント根絶に関する行動指針案の策定に関すること
- (3) その他議長が必要と認めること

委員

委員長：肥後淳三 副委員長：林政徳
委員：松岡信生、福田秀章、北本節代、井上昭吾、水元サユミ

ハラスメント実態調査アンケートの結果

働きやすい職場環境の実現に向けて、ハラスメントに関する実態を把握するため、市は管理職対象(177人)に、また、議会は議員対象(22人)にそれぞれアンケートを実施しました。

議員からのハラスメントに関する実態調査アンケート結果

対象者 市管理職(回答者171人)

Q 議員からハラスメントを受けたことがありますか。どのようなハラスメントでしたか。

A ある：65人
威圧的・高圧的な言動や態度をされた(57件)、対応や回答(答弁)に罵倒された(39件)、大声で叱責された(30件)など

Q 職員が議員からハラスメントを受けているのを見た(聞いた)ことがありますか。どのようなハラスメントでしたか。

A ある：91人
威圧的・高圧的な言動や態度をされていた(78件)、対応や回答(答弁)に罵倒されていた(53件)、大声で叱責されていた(48件)など

その他、全18問にわたるアンケートが行われました。

詳細はこちらをご覧ください。



議員へのハラスメントに関する実態調査アンケート結果

対象者 議員(回答者19人)

Q 他の議員からハラスメントを受けたことがありますか。どのようなハラスメントでしたか。

A ある：7人
威圧的・高圧的な言動や態度をされた(6件)、大声で叱責された(4件)、個人を攻撃する発言をされた(3件)など

Q 議員が議員からハラスメントを受けているのを見た(聞いた)ことがありますか。どのようなハラスメントでしたか。

A ある：12人
威圧的・高圧的な言動や態度をされていた(5件)、大声で叱責されていた(5件)、個人を攻撃する発言をされていた(3件)など

その他、職員から議員へのハラスメントに関する設問も含め、全35問にわたるアンケートを行いました。

集計結果につきましては、まとまり次第、市ホームページに掲載いたします。

令和5年度

政務活動費

政務活動費とは、地方自治法に基づいて、市議会議員が政策の調査や研究のために必要な経費として使うことができるものです。

研修会等への参加費や、議員活動・市政の報告等を行うための広報印刷費、研究資料の作成費など多岐にわたって活用されています。

Point!



- 「三田市議会政務活動費の交付に関する条例第2条」に基づき、会派支給または、個人支給のどちらかを議員が選択します。
- 1人当たりの年間交付額は、条例に基づき72万円としています。

詳細はこちら



交付対象者 会派または個人	盟政会 (5人)	公明党 (3人)	日本共産党 三田市議団 (3人)	厚地 弘行 (新政みらい)	北本 節代 (新政みらい)	佐賀 尚子 (新政みらい)	中田 哲 (新政みらい)
交付額	3,600,000円	2,160,000円	2,160,000円	720,000円	720,000円	720,000円	720,000円
支出額	2,840,433円	802,167円	2,070,620円	637,881円	302,872円	335,812円	711,836円
返納額	759,567円	1,357,833円	89,380円	82,119円	417,128円	384,188円	8,164円
費目別支出額	研究研修費	544,580円	41,550円	0円	83,100円	0円	0円
	調査旅費	844,099円	0円	168,250円	110,318円	41,895円	109,618円
	資料作成費	251,783円	58,685円	320円	34,561円	29,865円	72,437円
	資料購入費	428,680円	226,446円	116,333円	94,132円	125,518円	121,758円
	要請・陳情活動費	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	広報広聴費	197,950円	0円	964,555円	236,350円	0円	296,400円
	備品費	12,333円	0円	0円	0円	0円	0円
	通信運搬費	548,208円	394,162円	331,948円	79,420円	105,594円	108,613円
	事務所費	12,800円	81,324円	489,214円	0円	0円	16,920円

交付対象者 会派または個人	檜田 充 (市民の会)	美藤 和広 (市民の会)	肥後 淳三 (市民の会)	林 政徳 (日本維新の会 三田)	福本 愛 (日本維新の会 三田) ※8月～3月	関口 正人 (無会派) ※8月～3月	井上 昭吾 (無会派)
交付額	720,000円	720,000円	720,000円	720,000円	480,000円	480,000円	720,000円
支出額	614,425円	558,151円	394,216円	547,520円	389,322円	299,750円	534,789円
返納額	105,575円	161,849円	325,784円	172,480円	90,678円	180,250円	185,211円
費目別支出額	研究研修費	226,080円	41,495円	94,160円	485,480円	357,370円	240,480円
	調査旅費	106,030円	64,042円	102,400円	0円	0円	0円
	資料作成費	40,026円	91,530円	53,002円	0円	11,236円	6,278円
	資料購入費	62,432円	181,022円	34,228円	39,600円	0円	17,127円
	要請・陳情活動費	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	広報広聴費	0円	0円	0円	0円	0円	261,690円
	備品費	0円	9,638円	0円	0円	0円	0円
	通信運搬費	107,032円	97,599円	37,599円	22,440円	20,716円	22,440円
	事務所費	72,825円	72,825円	72,827円	0円	0円	0円

※会派別に取りまとめた令和元年度から令和5年度の政務活動費の資料(精算書、報告書等)は、議会事務局で保管しておりますので、閲覧を希望される方は、お問い合わせください。